

5月5日は、

「端午の節句」

端午の節句は、男の子の成長を願う節目の日で、奈良時代からお祝いをする風習があったようです。

その日が現在は、「こどもの日」として、祝日となりました。祝日法によりますと、こどもの日とは「こどもたちの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、お母さんにも感謝する日」だそうです。

当院の小児リハビリテーションにおきましても、こども一人一人の発達・成長に合ったリハビリテーションを提供できるよう心がけております。

今回は、こどもの発達や成長をみるために実施している発達検査についてご紹介します。



発達検査の目的

こどもの発達・成長の度合いを客観的に評価します。

そして、こどもの苦手なことを知るだけでなく、「何が得意か」を知って、それを伸ばすためには、どんな支援が有効か考えていくための手がかりを得ることを目的としています。

①新版K式発達検査

この検査では、そのこどもがとる行動や反応を同年齢と比較して、発達の度合いが実際の年齢よりどのくらい差があるか評価します。

「姿勢・運動」、「認知・適応」、「言語・社会」の3領域で評価します。

当院では、主に3歳から5歳のこどもを対象に実施しています。

②WISC-4

知能検査



知能検査とは、知的能力（ものごとをとらえる力・判断力・理解力など）を測定する検査です。

WISC-4では、全般的な知的能力に加えて、4つの指標に分けた能力が算出されます。

人は誰でも、得意なこと、不得意なことがあります。このような得意不得意を、客観的に評価することを目的としています。

対象年齢は5歳以上です。当院では、主に就学前のこどもを対象に実施しています。

小児リハビリのお知らせ

初回に小児科医師の診察が必要です。
初診をご希望される場合は、下記番号に問い合わせて予約をお願いします。

担当：水津・川上・阿南 電話：(097) 529-5611

【初診対応曜日】

	月	火	水	木	金	土
午前	応相談	—	応相談	—	—	—
午後	—	○	○	○	—	応相談

さいごに

小児リハビリテーションでは、検査の結果を、ご家族に分かりやすくお伝えすることを心がけております。
ご不明な点やご質問がありましたら、主治医、もしくは、担当スタッフにお気軽にお尋ねください。

（公認心理師 赤木）